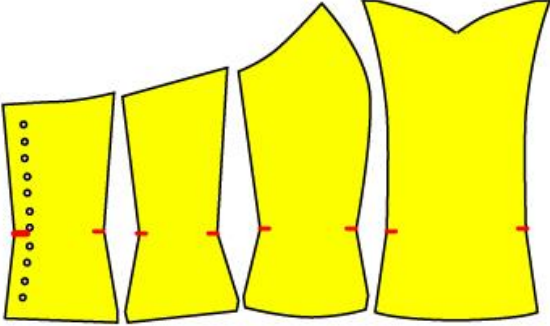
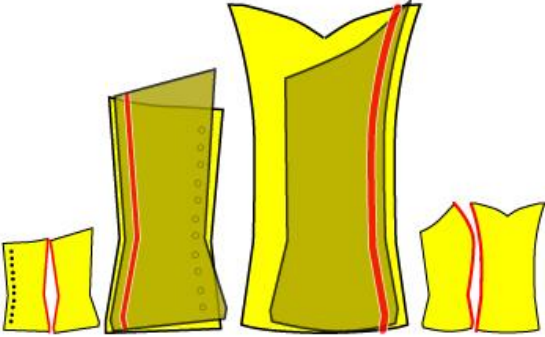
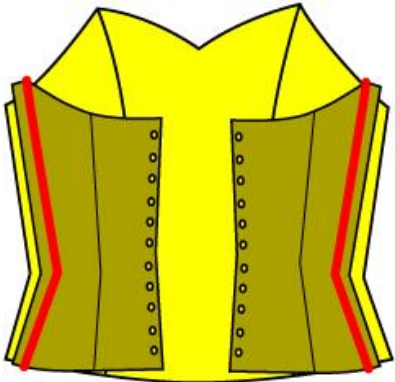
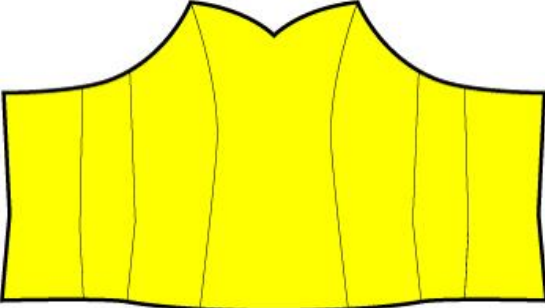
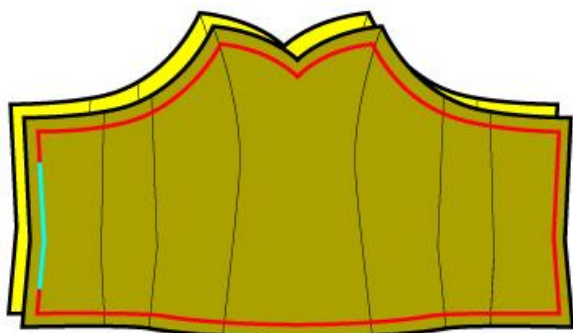
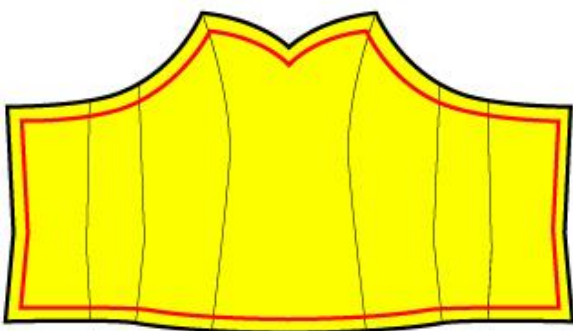
 <p>表 裏 接着芯</p>	<p>裁断した全てのパーツの端をほつれ止めをしてください。 えりの裏に接着芯を付けてください。 くわしくは縫う前の下準備を参照 模様とかをつけたい場合はこの時点で入れてください。</p>
	<p>ウエストのくびれの縫い代に、7～9mmの切込みを入れてください 位置あわせの印になります。</p>
	<p>後ろ中心と、後ろ脇。 前中心と前脇を縫ってください。 お好みで縫い代の中にレースなどを挟んでもかっこいいです。</p>
	<p>前後の身頃(胴体部分)と脇を縫ってください。 (図では片方だけですが両方縫い付けてくださいね)</p>
	<p>広げるとこんな感じ。 この時点で、装飾のレースやリボン、肩紐をつける場合は紐をつけてください。 同じように裏地も縫ってください。</p>



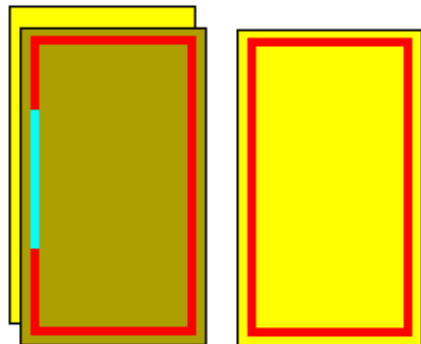
前後の身頃を中表に重ねてください。
後ろの片方はひっくり返すために縫い空けて、ぐるりと一周縫ってください。
(持出しの縫い付けていなかったほうをあけておく)
持出しは縫いこまないように、中に入れてください。
前の中心と、カーブの縫い代のところは縫い目を切らないように、7~9mm程度の切込みを入れてください。
切込みを入れないと、ひっくり返す時に、縫い代がつっぱります。
水色の縫いあけておいたところを、ひっくり返す前にアイロンで折り目をつけておくと跡で綺麗に閉じやすいです。



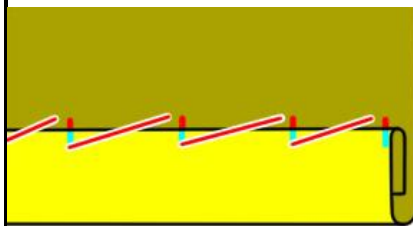
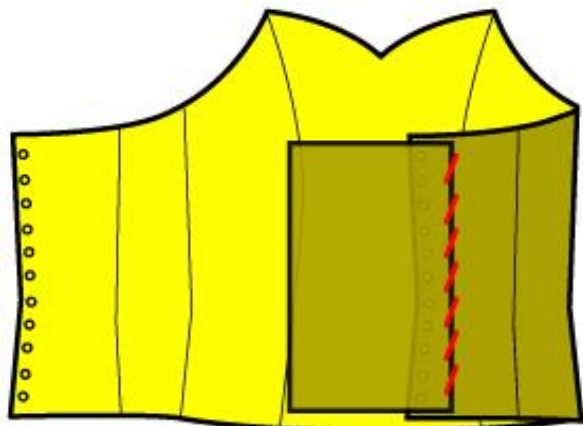
表に返して端から5mmのところを縫ってください。



持出しをよけてハトメの穴を開けてください。
穴はポンチという穴あけの道具が、ミシンによっては付属でついている場合もありますし、100円均一や、ホームセンターなどにも売っています。
[ハトメのつけ方](#)はハトメのパッケージにかかれています。
両面ハトメというものを買ってください。
両面ではないハトメは生地引っかかったりして衣類向きではありません。



持ち出しを表同士が内側になるようににあわせ返し口をあけて縫ってください。(接着芯をはっておく)
水色の部分にアイロンで折り目をつけてください。
表に返して端から5mmの所を縫ってください。
編み上げの下から下の服の色が見えたほうがかわいいという人は、持出しはつけなくてもよいです。



裏地の下に持ち出しを
重ねてまつり縫いをして
縫い付けてください。

縫い付ける位置は型紙
に線を描いてありますので、それを参考にしてください

後は紐を通して完成です。

ちょっとした工夫



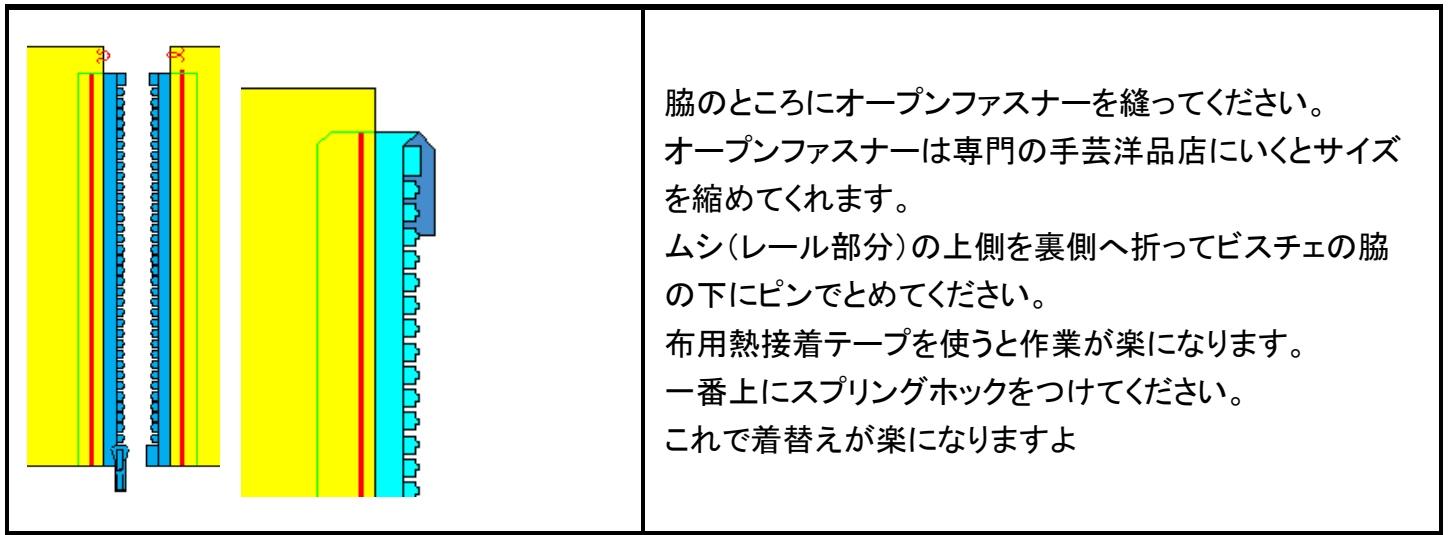
身頃を縫い合わせるときに片方の脇を縫い合わせず
おきます



表と裏を表同士が内側になるように重ね、赤い線の所を
縫ってください。
水色のところはひっくり返すためにあけておきます。
縫い終わったら、アイロンで水色のところをアイロンで折
り癖をつけておく



表替えして端から5mmの所を縫ってください。



必要な材料 表生地、裏生地、接着芯、編み上げようのひもかりボン、
お好みでオープンファスナーとスプリングフック

おすすめの生地

ブラウスのような綿の薄い生地だけだと、シルエットがくずれたりしやすいので、できれば厚手の生地がいいです。

気に入った柄で、薄い生地しかない場合は、接着芯を貼ったり布を2枚でひとつにしたりして、張りをだしてください。

ポリエステルツイル

化繊なので綿ツイルに比べて軽いです。

しわになりにくいです

張りがあります、パニエを下にはいて広げたい場合に向いていますが、張りがある分柔らかくドレープを出したい場合には向きません。

初心者にも扱いやすい生地です。

綿 ツイル

ポリエステルツイルに比べ、柔らかいですが、出来上がった服を着て長い時間座ったりするとシワが入ります。扱いやすい生地です

ジャガード 織りで模様をいれてある生地。厚さにも色々あるので薄いものを使いたい場合は、最低前身頃の裏全体に接着芯を貼ると見栄えがいいですよ

サテン 光沢がある生地、薄いものが多いので、芯だけだと薄すぎて強度が足りないことが多いので、サテン+芯+ツイルなどを重ねて2枚で1パーツとして使うといいです

裏生地

ビスチェの裏生地はワンピースなどと異なり張りが必要なので、ツイルなどの生地を使ってください。